

会 議 録

会 議 名	令和6年度 第1回東松山市立中学校部活動地域移行検討協議会					
開 催 日 時	令和6年11月6日（水）			開 会	15時30分	
				閉 会	16時50分	
開 催 場 所	東松山市総合会館4階 多目的ホールB					
会 議 次 第	1 開会 2 任命書及び委嘱状交付 3 挨拶 4 自己紹介 5 協議 ・学校部活動の充実及び課題解決に向けた協議 6 その他 7 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0名		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	座 長	森 浩寿	出席	委 員	長澤 誠	出席
	委 員	寺田 浩之	出席	委 員	梶田 英司	欠席
	委 員	大塚 実	出席	委 員	松崎 努	出席
	委 員	岡部 健	出席	委 員	遠藤 和宏	欠席
	委 員	太田 あや子	出席			
事 務 局	教育長 吉澤 勲			学校教育部次長 細野 敦		
	学校教育課長 久保田 慶一			主任指導主事 長沢 正博		
	指導主事 柳 恒平					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局 開会宣言
2・3 任命書及び委嘱状の交付・挨拶	教育長 ＜任命書・委嘱状の交付＞ (委嘱状5名、任命書4名・2名欠席のため後日交付)
4 自己紹介及び座長の選任	自己紹介：各委員・事務局から 森浩寿委員を座長に選任する。
5 協 議	<p>協議事項（１）</p> <p>事務局 国のガイドラインおよび本市の部活動の現状と今年度までの取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁、文化庁より令和４年１２月に出された「学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドライン（概要）」について、少子化が進む中、将来にわたって生徒がスポーツ文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する目的で学校部活動を改革し、地域の持続可能である環境を整備する方針が示された。まずは休日から地域移行を始め、平日ができるところから環境を整備することとなっている。 ・市の方針は、国のガイドラインに則っている。 ・まずは休日（土日や祝日）の部活動についての見直しを図る。 ・今年度行うこと <ul style="list-style-type: none"> ①部活動検討会議の開催（年間３回程度） ②地域連携会議の開催（必要に応じ会議を庁内で実施） ③東松山市立中学校部活動地域移行検討協議会の開催（年間３回） ④部活動地域移行次年度の予算確保 ・東松山市立中学校部活動地域移行スケジュール案の提示 ・教職員、児童生徒、児童生徒の保護者へ行った「部活動地域移行についてのアンケート結果」を提示 <p>岡部委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外部指導者」と「部活動指導員」の違いは。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外部指導者」は現在中学校の部活動で顧問の補助として技術指導を行っている方、「部活動指導員」は単独で引率から指導まで顧問の代わりができる方である。 <p>松崎委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された「部活動指導員」は新設されたものという認識でよいか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。

松崎委員	・予算は市で確保したものか。
事務局	・国や県の補助があると思われるが、市として確保したものである。
大塚委員	・「部活動指導員」となると責任が伴う。該当者にきちんと説明をしておかなければならない。
森座長	・部活動指導員に対する講習会の必要性、資格の有無などもこの協議会で検討すべき内容である。 ・平日は顧問、土日だけ部活動指導員が指導となると、顧問と指導員の連携が必要であり、うまくいかないと子ども達が不利益を被る場合がある。 ・国からは、土日に限らず平日も地域移行について考えていく方針が示されている。
太田委員	・東京では、退職教員が外部指導員を行っている。埼玉県でもそのような方を中心に人材バンクを作っていこうという動きが見られる。
寺田委員	・地域移行の課題としては、お金、場所、人材が考えられる。スポーツ少年団の指導者が部活動指導員となる可能性も考えられる。
	協議事項（２）
太田委員	・県内の部活動地域移行の現状報告と武蔵丘スポーツクラブの概要について説明。 ①県内ではいくつかの自治体で教育委員会または民間企業が中心となって事業を進めている。 ②武蔵丘スポーツクラブの事業については、今年度から東松山市の生徒の参加が可能となった。初回は無料、２回目以降は参加費が５００円。 ③応募は、保護者が直接申し込む形である。
森座長	・統合型スポーツクラブに移行という選択肢もある。情報提供として愛知県豊橋市では中学校の部活動を土曜日日曜祝日は実施しないことと決定した。
松崎委員	・統合型スポーツクラブが中心となって地域移行をしていくのが東松山市の方針か。
事務局	・できることから始めていくというスタンスである。統合型スポーツクラブは選択肢の一つであると考えている。
松崎委員	・前任校での経験から、部活動指導員の人材確保は非常に苦労した。他に課題として、先生たちの労働問題がある。
森座長	・部活動の地域移行は、いろんなパターンが考えられると思う。一つは先ほど話があった部活動指導員の配置、それから今の武蔵丘スポーツクラブのような地域の資源をする既存クラブや大学や民間事業者企業等を使ったものであるとかハイブリッドであるとかいろんなものが考えられる。それらをミックスして

<p>長澤委員</p> <p>森座長</p>	<p>この種目はとりあえずこれでやってみようという形になっていくのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちは学校を含めた「地域で育てる」という考えが根本になければいけないだろうと考える。そんな体制を地域で作って行かなければならない。 ・学校の部活動でしか活動する場所がなかったというところから、地域にもそれが広がっていき、子供たちに選択肢を増やすことができるだけでも、部活動の地域移行が前進していると考えている。 ・他県や他市町村部活動の顧問のなり手が不足している現状がある。 ・本日は、課題の共有ができたことが良かった。 ・以上で予定された議事を終了し座長の任を解かせていただき、司会進行の方へお戻しする。
<p>6 その他</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の協議会の開催について、第2回は12月18日(水)、第3回目は2月26日(水)に開催を予定している。 ・今年度も委員の方々に貴重なご意見等をいただきながら、課題とその解決策についても検討していきたいと考える。
<p>7 閉会</p>	<p>事務局：学校教育課長 久保田 慶一</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年12月2日 <u>署名委員 長澤 誠</u></p> <p style="text-align: right;"><u>署名委員 松崎 努</u></p>	